

特集 「公募する研究について」

特定領域研究「古典学の再構築」に参加いただくために

特定領域研究とは

文部省科学研究費特定領域研究は、「我が国の学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域や、環境問題、難病克服等地球規模での取り組みが必要な研究領域を特定して、一定期間、研究の進展等に応じて機動的に推進し、当該研究領域の研究を格段に発展させることを目的」としている。

特定領域研究には、公募する研究を含むもの（A）、と含まないもの（B）の2種があり、本特定領域はAである。従って、あらかじめ組織された「計画研究」と、公募によって募集する「公募研究」から成っている。

本特定領域には、「計画研究」として、7種の研究項

目を研究する32件の「専門研究」と、これら諸専門研究を7種の研究項目ごとに連絡・調整する7件の「調整班研究」および領域全体を統括する1件の「総括班研究」の、合計40件の研究がある。平成10年度は、来年度からの研究全体の開始を準備するための「総括班研究」のみが研究を開始している。

「公募研究」は、上記7種の研究項目に対する貢献を目的としてなされる約45件の研究を現在募集している。研究期間は、平成11年度から研究を開始し、14年度末まで、2年間～4年間である。

本特定領域の詳細は、6ページ以下に紹介する。また、文部省科学研究費公募要領に記載された本領域の研究概要は、下に再録したとおりである。

特定領域研究「古典学の再構築」研究概要(文部省科学研究費公募要領所載)

④9 古典学の再構築 20世紀後半の研究成果総括と文化横断的研究による 将来的展望

領域略称名：古典学再構築
領域番号：118
研究期間：平成10年度～平成14年度
領域代表者：中谷英明
所属機関：神戸学院大学人文学部

19世紀にヨーロッパに成立して以来、領域ごとに独自に発展してきた近代古典学諸学は、近年、次の課題に直面している。(1) 新方法論の確立。A. 旧来の方法論に潜む価値観、例えば近代西欧特有の自然観や人間観などを脱却し、諸文明固有の論理を客観的に記述する視座を創出すること。b. 古典学を質的に変化させつつあるコンピュータ利用法の標準を確立し普及させること。(2) その新方法論に基づく過去半世紀間の研究成果の総括と、古典そのものの再評価。

本領域研究は、日本の古典諸学が連携してこの課題に取り組み、新しい古典学と古典像を創造し、学的成果と新しい日本語訳を広く公開することによって、日本文化の一段の深化に資するものである。上記の課題に貢献し、次の研究項目に関する一人又は小数の研究者による、年度当たりの申請額100～200万円程度の研究を公募する。ただし(1) 最新の研究成果を踏まえること、(2) 独創的視点を持つこと、(3) 他領域の研究成果を視野に入れていることが望ましい。古典の範囲は、原則として中世までとし、人文科学はもとより社会科学(法学など)の対象も含むものとする。

- | | |
|---------------|---------------|
| (研究項目) A01 原典 | B01 伝承と受容(世界) |
| A02 本文批評と解釈 | B02 伝承と受容(日本) |
| A03 情報処理 | B03 近現代社会と古典 |
| A04 古典の世界像 | |

望ましい公募研究

本特定領域は、古典学諸学の連携を重視し、本領域内のすべての研究は、常に他の研究分野に対して開かれたものであることを前提としている。公募研究を担当する研究者は、本領域研究の主宰する研究会に積極的に参加し、他の研究分野の研究に対して適切な関心を寄せられることを希望する。

上記の視点からまた、人文科学分野のみならず、社会科学分野からの応募も歓迎する。

ただし、古典研究は、正確な読解なしには砂上の楼閣である。厳密な文献学的手法による的確なテキスト読解に基づいた研究でなければならないことは言うまでもない。

良質の成果を期待し得る新地平を切り開く、独創的かつ創造的な研究者が、積極的に参加されることを期待している。

研究項目及び研究分野との関連

先に述べたように、本特定領域では、7種の研究項目について研究を行う。従って、これら7種の研究項目に対する貢献を目的とする研究を、公募研究として求めている。研究は複数の研究項目にわたってもよく、その場合は主たる研究項目を1つ、研究計画調書の研究項目欄に記入してもらいたい。

各研究項目が、どのような研究を実施しようとしているか、どのような研究を募っているかに関しては、12ページ以下の「研究項目について」を参照されたい。

また、種々の研究分野（日本、中国、インド、西洋、イスラエル、イスラム、チベット、朝鮮など）が、それぞれ過去の研究史から、どのような研究を将来的に展望しているかにかんして、18ページ以下の「研究分野について」にまとめている。応募の参考としていただきたい。

留意事項その他

(1) 重複申請の制限（特定領域研究について）

同一研究者が同一研究領域に申請できる研究課題数は、計画研究・公募研究及び研究代表者・研究分担者を問わず1件に限る。

平成11年度文部省科学研究費公募要領 p.13を参照すること。

(2) 文部省科学研究費の申請用紙・参考資料

特定領域公募研究の申請用紙の入手先
科学研究費補助金計画調書用紙頒布会
〒101 0061 千代田区三崎町2 6 9 三栄ビル202
電話(03) 3263 9092

科学研究費の執行事務の手引き
「科学研究費補助金交付・執行等事務の手引き」
科学研究費執行会編(株)芥タムラ書房発行
〒131 0041 墨田区八広2 44 5
電話(03) 3617 5395

科学研究費補助金の配分・審査・採択研究一覧
「文部省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」
科学研究費研究会編(株)ぎょうせい発行
〒104 0061 中央区銀座7 4 2
電話(03) 5349 6666